

	計画事業	具体的事業	所管課	実績に記載する内容	活動実績			備考(今後の方向)		
					30年度	元年度	2年度			
1 学校での 体づくり 活動の 充実	(1) 学校における 体力向上の 取組の推進 運動の楽しさや魅力に触れさせ体力を高めていく活動を通して、運動する・しないの二極化を解消し、子どもたちの生活の基盤となる体力を育む取組を推進します。 また、健康な生活の維持について体験的に考え、理解を図る活動を通して、生涯にわたって自らの健康を管理・改善していく資質や能力を育てる取組を推進します。	① 体力向上のための「一校一取組」運動の推進	済美教育センター	実施校数	65校	65校	64校	64校	継続	
		② 特別な支援を要する児童・生徒のスポーツ・運動の推進	済美教育センター	連合運動会参加校数(小中固定特別支援学級及び特別支援学校)	15校	15校	中止	15校	継続	
		③ 「体力づくり教室」の実施	済美教育センター	開催回数 参加者数	3回 576人	3回 528人	中止	3回	現段階では参加者数は未定。 令和3年度はオリンピック・パラリンピック開催のため、「跳び箱・マット教室」の回数減(4→2)	
		④ 「すぎなみウェルネスDAY(体力・食育・健康の総合イベント)」の実施	学務課 済美教育センター	開催回数 参加者数	1回 2,918人	1回 3,222人	1回	未定	現段階では参加者数は未定	
			学務課	開催回数 参加者数	1回 700人	1回 750人	1回	750人	未定	
			済美教育センター	開催回数 参加者数	1回 2,218人	1回 2,472人	1回	235人	未定	
	(2) 学校運動部活動の支援 生徒数の減少に伴い、従来の顧問教員による部活動指導が困難になっている状況を踏まえ、各学校の実情等に 応じて、専門業者に委託して指導を行う部活動活性化事業を推進するほか、顧問教員による指導を補助する外部指導員を配置します。	① 部活動活性化事業の推進	学校支援課	実施校数 種目数	21校 14種目	20校 13種目	20校 14種目	20校 15種目		
		② 部活動外部指導員事業の推進	学校支援課	実施校数 外部指導員数	23校 360人	23校 360人	23校 360人	23校 360人		
	(3) スポーツ大会等の挑戦機会の充実 子どもたちが日頃の練習の成果を発表し、また、学校や杉並区の仲間がひとつになって、スポーツに挑戦する機会を設けます。	① 中学校対抗駅伝大会の開催	スポーツ振興課	開催回数 参加生徒数	1回 402人	1回 402人	1回 355人	1回 430人		
		② 中学生「東京駅伝」への選手派遣	済美教育センター	開催回数 参加者数	1回 42人	1回 42人	中止	—	令和2年度までで大会終了	
		③ 「すぎなみウェルネスDAY(体力・食育・健康の総合イベント)」の小学生長縄グランプリ	学務課 済美教育センター	小学生長縄グランプリ 開催回数 参加者数	1回 2,218人	1回 2,265人	1回 235人	未定	長縄グランプリの在り方について、校長会、教科等教育推進委員会(小学校・体育健康部会)を中心に検討していく。	
		④ 交流自治体中学生親善野球大会の実施	スポーツ振興課	参加自治体数 参加者数	6自治体 206人	3自治体 185人	4自治体 146人	3自治体 185人		
I 子どもの スポーツ・ 運動・ 遊びの 推進	(1) 乳幼児期・ 学齢期の 運動習慣 づくりの 推進(保護 者の意識 啓発) 乳幼児期から小学校低学年くらいの子どもとその保護者を対象に、遊びを通して楽しみながら運動習慣を身につける教室や、家庭でできるプログラムなど保護者の意識啓発もあわせた取組を行います。 また、健康に課題のある子どもと親を対象とした教室を実施するなど、子どもたちの健康的な生活習慣の確立を目指します。	① 身近な体育施設での乳幼児親子参加の各種スポーツ教室の実施	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	教室数 延べ参加組数	100 6619	121 5393	36 2952	59 4309		
		② 就学前のからだ遊びプログラムの作成・配布	スポーツ振興課	実施回数	—	—	—	—	実施	
		③ 乳幼児を対象とした運動プログラムの実施と乳幼児親子の活動の場の提供	児童青少年課	児童館、子ども・子育てプラザ 実施回数	5,004回	41カ所 13097回	38カ所 7620回	35カ所 11,585回	R2年度はコロナのため休館期間あり	
		④ 児童館や放課後等居場所事業での小学生の遊び・運動の場の提供	児童青少年課	実施場所数 実施回数	44カ所 14,948回	46カ所 14,462回	47カ所 9,843回	47カ所 14,673回		
		⑤ 小学生親子対象の運動、栄養プログラムを実施する教室(親子健康教室)の実施	学務課	実施回数 延べ参加組数	27回 42組	24回 30組	18回 12組	18回 12組		
		⑥ 小児生活習慣病予防検診の事後指導(体験型運動教室)	学務課	実施回数 延べ参加人数	—	—	—	—	H30は会場の関係で中止。H31以降は対象者は親子体験教室にご参加いただけるよう変更したため、小児のみの体験教室は実施せず。R2は検診がコロナで中止だったため、親子教室も実施せず。	
2 地域での 多様な 遊び・ スポーツ 体験の 充実	(2) 身近な場 所での外 遊びの 推進 地域の身近な学校で子どもたちが安心して外遊びができるよう、事故防止等のための指導員を配置して学校の校庭を開放する「遊びと憩いの場」事業を行います。 また、子どもたちがのびのびと体を動かして遊べるよう、公園を活用します。	① 外遊びの場としての学校校庭開放の実施	学校支援課	遊びと憩いの場 実施校数 延べ参加人数	39校 96,307人	36校 77,802人	30校 14,013人 (上半期)	27校 50,000人	今後も継続予定	
		② 乳幼児の遊びエリア備えた多世代が利用できる公園づくり	みどり公園課	すくすく広場 設置か所数	累計14所	累計14所	累計14所	累計14所	すくすくひろばは平成29年度までに整備完了。今後は区民ニーズと時代の変化に対応した多世代が利用できる公園づくりを進めていく。	
		③ 子どもプレーパーク事業の実施	児童青少年課	実施回数 延べ参加者数	5所 61回 11,301人	7所 63回 8,871人 (見込)	7所 65回 9,408人	未定		
	(3) 杉並スポ ーツアカ デミー (スーパ ーキッ ズ)の実 施 子どもがスポーツを楽しみ、生涯にわたりスポーツ・運動に親しむ習慣が育まれるよう、小学生とその保護者を対象に、トップアスリートやスポーツ分野の専門家を招き、実施体験やお話を聞く講座を実施します。	① 杉並スポーツアカデミー(スーパーキッズ)の実施	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	スーパーキッズ 延べ参加人数	59組 118人	22組 44人	30組 60人 予定	30組 60人		
		(4) スポーツ 種目別 の専門 家によ る指導 の充実 児童館や区立小中学校などで、子どもたちがスポーツ種目別専門家と交流し、直接指導が受けられるよう、指導者派遣の充実を図ります。	① スポーツ種目別の専門家の派遣	スポーツ振興財団	専門家派遣件数 (児童館・小学校)	99件	107件	56件	100件	
			(5) 多様な スポー ツ体験 の機会 の充実 自然環境の中で遊びながら、体や頭を使ってチャレンジするプログラムを充実します。また、スポーツボランティア体験、障害者スポーツ体験など、スポーツとの多様な関わりを体験できる機会の充実を図るとともに、子どもたちがスポーツやオリンピック・パラリンピックを総合的に学べるよう、オリンピック選手との交流体験やパラリンピック種目体験などを実施します。	① 野外活動体験の充実	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施回数 延べ参加人数	2回 75人	2回 80人	中止	2回 80人
② 多様なスポーツ体験の機会の充実	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施回数 延べ参加人数		5事業 20回 425人	2事業 14回 406人	2事業 9回 184人	3事業 34回 830人			
③ チャレンジ・アスリートの実施	スポーツ振興課	実施回数 延べ参加人数		4回 155人	4回 131人	3回 107人 予定	4回 140人			
(6) 観るス ポーツ の推進 トップアスリートのプレーを間近に観ることで、感動や憧れなどを抱き、友達や家族と応援する楽しさを味わうことで、スポーツへの関心を高めることにつながるよう、スポーツ観戦の機会を充実します。また、障害者スポーツを観ることを通じて、心のバリアフリー、共生社会が実現されることを目指します。	① 観るスポーツ(スポーツ観戦)の推進	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施回数 参加人数	2回 1,767人	2回 1,018人	1回 307人	3回 2,000人			

	計画事業	具体的事業	所管課	実績に記載する内容	活動実績			予定 3年度	備考(今後の方向)	
					30年度	元年度	2年度			
II 無関心タイプへ 興味を持つとう！ スポーツ・運動の 意識啓発	1 多様な角度からの スポーツ・運動の 意識啓発	杉並区健康づくり推進期間での啓発事業 日頃スポーツや運動をしていない人がスポーツや運動に親しみきっかけづくりとなるキャンペーンを、体育施設等で実施します。特に、生活習慣病の改善・予防には、スポーツ・運動は効果的であり、自分自身がそのメリットを体験して気がつくことが大切です。そこで、杉並区健康づくり健康推進期間に合わせ、効果的に機運を高めます。	① スポーツ始めキャンペーンの実施	スポーツ振興課	送付件数 対象施設数 延べ参加人数	7200人 12施設 1,129人	7000人 12施設 983人	15,000件 12施設 785人	15,000件 13施設 1,000人	
		② 杉並区健康づくり推進期間での啓発事業	健康推進課	協定事業 参加延べ人数	2所 425人	2所 358人	2所	2所		
		① トップアスリートによる啓発	スポーツ振興財団	実施状況	1回 75人	中止	中止	1回 200人		
		① 観るスポーツ(スポーツ観戦)の推進	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	—	2回 1,767人	2回 1,018人	1回 307人	3回 2,000人		
II 無関心タイプへ 興味を持つとう！ スポーツ・運動の 意識啓発	2 活動的な生活習慣の 意識啓発	スポーツツーリズムの推進 杉並区の交流自治体は、豊かな自然やその地ならではの歴史・文化を持っています。それぞれの自治体で行われるスポーツの体験や試合観戦に関する情報提供や、交流自治体への体験ツアーなどで、スポーツ・運動に関する要素や地元の人々との交流を取り入れるなど、日常と異なる環境でのスポーツ・運動のきっかけづくりを行います。	① スポーツツーリズムの推進	文化・交流課 地域活性化推進 担当 交流協会	交流自治体が開催するスポーツイベントの情報提供	15件	18件	5件	14件	令和2年度活動実績は、コロナによる中止や開催しないイベント多数により大幅に減少
		生活習慣病予防に向けたスポーツ・運動の意識啓発 生活習慣病予防に向けて、杉並区国民健康保険加入者の40～74歳の特定健康診査・特定保健指導対象者で、特に運動が必要な人などに、食生活の改善やスポーツ・運動の情報提供を行います。	① 生活習慣病予防対象者への情報発信	健康推進課 国保年金課	糖尿病ハイリスク者等への教室 室内送付数 生活習慣病早期介入事業等の 情報発信件数	1,476人 2,000	1,787人 2,000	1800人 (予定) 2,000	2000人 2,000	データヘルス計画に基づき実施
		② スポーツ始めキャンペーンの実施【再掲】	スポーツ振興課		7200人 12施設 1,129人	7000人 12施設 983人	286件 12施設 785人	286件 12施設 785人		
		高齢者に向けたスポーツ・運動の意識啓発 65歳以上の高齢者に向けて、一般介護予防事業全般に関するパンフレットや教室等のチラシを作成し、自分の身体状況を把握するための身体能力測定会や現状の維持・改善のために手軽に始められる運動などを紹介します。また、広く周知を図るため、関係部署の窓口等での配布のほか、区内施設や地域包括支援センター等の関係機関を活用します。	① 高齢者対象の広報の充実	保健サービス課	介護予防事業案内(元気！はつらつ いい笑顔 介護予防事業のご案内)発行部数	5,000部	5,000部	6,000部	6,000部	高齢者の健康づくりのため、体操やウォーキング等の一般介護予防事業の内容を広く周知する。
II 無関心タイプへ 興味を持つとう！ スポーツ・運動の 意識啓発	3 活動的な生活習慣の 意識啓発	フレイル(虚弱)予防の意識啓発 「適度な運動」はフレイル予防の重要な柱の一つです。健康寿命の延伸に向けて、フレイル予防の普及啓発を推進します。	① フレイル(虚弱)予防の意識啓発	健康推進課	フレイルチェックイベント等参加延べ人数	13回 103人	9回 130人	3回 25人	9回 130人	継続(令和4年度以降未定)
		障害者へのスポーツ・運動の普及啓発 障害者にとってスポーツ・運動は、体力や身体機能、健康増進の面でより多くの効用があります。障害者がスポーツ・運動を行うきっかけとなるよう、障害者が日中活動している施設や相談窓口、各種イベントなどで、身近なスポーツ・運動に関する情報の発信や、施設等に向いてスポーツ・レクリエーションの体験機会を提供するなどの普及啓発を行います。	① 障害者通所施設等でのスポーツ・レクリエーション出前教室(アウトリーチ事業)の実施	障害者施策課 障害者生活支援課 スポーツ振興財団	実施回数 参加人数	未実施	1回 15人	コロナにより中止	3回 未定	
		② 障害者の相談窓口などで普及啓発	障害者施策課 スポーツ振興財団	実施状況	実施	実施	実施	実施		
		② ふれあいフェスタでの普及啓発	障害者施策課 スポーツ振興財団	参加人数	50人	170人	コロナにより中止	未定	今後の実行委員会で内容を決定。	
III 気軽に参加できる 身近なス...	1 気軽に参加できる 身近なス...	ウォーキング・ジョギングからの運動習慣づくりの推進 身近で無理なく行うことのできる運動として、ウォーキング、ジョギングは有効です。区民間ケートでも、この一年でスポーツを行った人の約7割が「ウォーキング」と回答しています。講習会の開催やマップの発行など、ウォーキング、ジョギングの推進に向けた取組を実施します。	① 区民歩こう会・公園から歩く会の実施 杉並区景観ある区マップ・史跡散歩地図等の発行	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	「区民歩こう会」 開催回数 参加延べ人数	3回 432人	3回 797人	1回 150人	3回 700人	
		① 区民歩こう会・公園から歩く会の実施 杉並区景観ある区マップ・史跡散歩地図等の発行	保健サービス課	「公園から歩く会」 実施している公園数	10所	11所	12所	12所	高齢者が身近な地域で参加しやすいよう会場・実施回数を増やす	
		① 区民歩こう会・公園から歩く会の実施 杉並区景観ある区マップ・史跡散歩地図等の発行	みどり公園課	「杉並景観ある区マップ」 マップ種類の数	9種類	9種類	9種類	9種類	全地域完了したので、既存の増刷のみ	
		① 区民歩こう会・公園から歩く会の実施 杉並区景観ある区マップ・史跡散歩地図等の発行	生涯学習推進課	「史跡散歩地図」 マップ種類の数	2種類	2種類	2種類	2種類	地図の配布を継続する	
		① 区民歩こう会・公園から歩く会の実施 杉並区景観ある区マップ・史跡散歩地図等の発行	スポーツ振興財団	「歩くとマップ」 マップの種類の数	8種類	8種類	8種類	8種類		
		② 「歩っ人(ほっと)すぎなみ」の推進	スポーツ振興財団	教室の実施回数 参加人数	1回 29人	中止	1回 20人	1回 30人		
		③ すぎなみ名物「ファミリー駅伝」の実施	スポーツ振興財団	参加人数	1回 224人	中止	中止	1回 300人		
		① (仮称)杉並スポーツ情報サイトの構築及び情報提供(始めるサポート)	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施状況	検討	実施予定	実施	実施		
		① 各体育施設等での教室や一般使用の充実	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	当日参加可能な教室数 延べ参加人数	18教室 11,119人	17教室 5,971人	11教室 2,429人	16教室 8,530人		
		② 「楽しく健康タイム」の実施	スポーツ振興財団	延べ参加人数	7,936人	4,854人	1,501人	4,290人		
③ スポーツ推進委員による地域拠点活動の推進	スポーツ振興課	延べ参加人数	800人	800人	0人	800人				
④ 「わがまち一番体操」の実施	保健サービス課	延べ参加人数	12,472人	10,993人	1,783人	7,000人	高齢者が身近な地域で参加しやすいよう会場・実施回数を増やす			
⑤ 体育の日スポーツフェスティバルの開催	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施施設数 延べ参加人数	45,937人	22,788人	19,003人	22,983人				
⑥ 初心者スポーツ教室の実施	スポーツ振興財団	教室数 延べ参加人数	16教室 278回 4,353人	16教室 174回 3,341人	14教室 70回 1,347人	16教室 163回 4,197人				
	スポーツ振興財団	一般使用アドバイザー派遣数	569回	498回	110回	614回				

	計画事業	具体的事業	所管課	実績に記載する内容	活動実績			予定 3年度	備考(今後の方向)	
					30年度	元年度	2年度			
VI スポーツ・運動をしなくなる環境づくり	(1)	スポーツを支える活動<支えるスポーツ日本一!>の推進 子どものスポーツの指導やクラブの運営、イベントの運営、障害者スポーツの介助など、スポーツ活動は様々な支える活動により成り立っています。あらゆる活動に、様々なスポーツボランティアが関わることができるよう、様々なイベントでボランティアを呼び掛け、誘いあって参加する新たな仕組みをつくります。 また、大会やイベントの開催にあたって、区民が様々なスタイルで支える仕組みとして、寄付や協賛の導入を進めます。 さらに、スポーツ推進委員が、より地域に密着した活動を充実することにより、スポーツ実施のきっかけづくりとスポーツによる地域づくりを推進します。	① 「支えるスポーツ日本一！」の推進	スポーツ振興財団 スポーツ振興課	事業ボランティア・実行委員の人数	226人	57人	49人	130人	
		② スポーツ推進委員による地域拠点活動の推進【再掲】	スポーツ振興課	委員数 べ実施回数	800人	800人	0人	800人		
	(2)	地元のトップアスリートとの連携 スポーツ技術を極めたトップアスリートからの助言や指導を受けることは、技術の向上や取り組み姿勢等を学ぶために非常に良い機会です。スポーツイベント等で、地元のトップアスリートに講師等での参加を促すなど、杉並区のつながりを活かした取組を行います。	① 地元のトップアスリートとの連携	スポーツ振興課 スポーツ振興財団		4回	5回	3回	5回	
				スポーツ振興課	チャレンジ・アスリート オリパライベント アカデミー	2回	3回	1回	3回	
				スポーツ振興財団	かけっこ教室 実施回数	かけっこ教室 2回	かけっこ教室 2回	かけっこ教室 2回	かけっこ教室 2回	
	(3)	すぎなみスポーツアカデミーによる人材育成 地域スポーツに関わる指導者やコーディネーター、次代を担う子どもと保護者、障害者スポーツを理解し推進するサポーターなど、スポーツを取り巻く様々な人材を育成し、「する・観る・支える・育てる・誘う」等の様々なスタイルでスポーツに関わる「スポーツ関与者」の増加を図ります。	① すぎなみスポーツアカデミーの実施【再掲】	▽事業係	A1 修了者数 A2 修了者数 B 修了者数 基礎講座延参加者数 withコロナ講座延参加者数 C 参加者数 D 延参加者数 E 延参加者数	24人 8人 10人 — — 118人 63人 131人	9人 3人 4人 — — 44人 68人 76人	— — — 85人予定 184人予定 60人予定 110人予定 193人予定	20人 20人 20人 — — 60人 60人 110人	
					実施	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施	スポーツ振興課 実施 財団:実施	スポーツ振興課 財団:実施	スポーツ振興課 財団:実施
	(4)	総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援【再掲】 区民が自主的、主体的に運営する多世代、多様目、多志向の総合型地域スポーツクラブ(及び設立準備団体)の自主的、主体的な活動を支援します。将来的に、教育委員会と連携を図りつつ、こうした総合型地域スポーツクラブが学校運動部活動の運営・指導を支援する仕組みづくりを目指します。	① 総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援【再掲】	スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施	スポーツ振興課 財団:実施	スポーツ振興課 財団:実施	スポーツ振興課 財団:実施	財団:実施	スポーツ振興課:R2年度はコロナの影響により実施せず
	(5)	スポーツ栄誉顕彰の実施 競技大会等で顕著な成績を収めた区民を表彰します。	① スポーツ栄誉顕彰の実施	スポーツ振興課		実施	実施	実施予定	実施予定	:3/12(金)に授与式を予定。
	(6)	スポーツ交流の充実 日頃から杉並区と交流のある自治体とスポーツを通じて親睦を図り、友好の輪を広げます。そのため、次世代育成の観点から、青少年の国内外スポーツ交流事業を推進するほか、交流自治体等におけるスポーツイベントの情報を発信します。	① スポーツ交流の実施	スポーツ振興課	野球、バレーボール交流事業の参加者数	229人	290人	160人	290人	
文化・交流課 地域活性化担当 交流協会					15件	18件	5件	14件	令和2年度活動実績は、コロナによる中止や開催しないイベント多数により大幅に減少	
(7)	複数の体育施設をグループ化した指定管理者制度の推進 体育施設の運営については、指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活用して、多様化する運動・スポーツに関する区民サービスの向上や効率的な施設運営に努めています。複数の施設を一つのグループとして指定管理者に委ねることで、地域を面として捉えたサービスの提供とスケールメリットを活かした効率的な運営を一層進めます。	① 指定管理施設のグループ化の推進	スポーツ振興課	実施状況	実施	実施	実施	実施		
(8)	協定に基づくスポーツ振興の取組 都立高校2校の体育施設の開放事業を活用して、区内の青少年を育成するスポーツ団体等の活動の場を広げています。今後、より多くの団体が活用できるよう、地域団体への利用促進を図るとともに、東京都・都立高校への調整を図っていきます。 また、区民の健康増進や区民サービスの向上について包括協定を結んでいる民間事業者との連携・協働により、スポーツ振興や青少年の育成、健康づくりに取り組めます。	① 都立高校の体育館等の活用	スポーツ振興課	都立西高・豊多摩高校の活用 利用日数 利用数	実施	実施	実施	実施		
			スポーツ振興課	実施状況	実施	実施	実施	実施		
VII 大会に向けた機運の醸成	(1)	区民懇談会の開催 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を区内のスポーツ振興、地域の活性化につなげ、将来にわたり大会のレガシーを残すことができるよう、区民と幅広く意見交換を行い、それぞれが主体となって取組を進めていきます。	① 区民懇談会の開催	オリンピック・パラリンピック連携推進担当	懇談会の開催回数	4回	1回	3回	2回	元年度は、コロナ対応のため、別途1回郵送で持ち回り開催。
				オリンピック・パラリンピック連携推進担当	普及啓発事業の実施回数(地域イベント)	8回	8回	3回	3回	ビーチバレーボール「東商杯」 BATA ART すぎなみフェスタ
	(2)	多様なオリンピック・パラリンピック普及啓発事業の実施 オリンピック・パラリンピックの普及啓発・理解促進のためのイベント等を実施します。	① オリンピック・パラリンピック普及啓発事業の実施	オリンピック・パラリンピック連携推進担当	普及啓発事業の実施回数(その他)	14回	23回	11回	7回	パブリックビューイング(2) 聖火リレー(2) ※地域イベント再掲
				オリンピック・パラリンピック連携推進担当 スポーツ振興課	機運醸成イベントの回数	—	2回	—	—	元年度のみ
				スポーツ振興課	回数 参加人数	1回 510人	1回 738人	1回 800人	1回 500人	
				スポーツ振興課 スポーツ振興財団	実施状況	—	—	—	実施	
	(3)	オリンピック・パラリンピック教育の実施 5つの資質(ボランティア・マインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚)の育成を踏まえた4つのテーマ(障害のある人への理解、スポーツ、文化、環境)と4つのアクション(学ぶ、観る、する、支える)によるオリンピック・パラリンピックに関連する教育をすべての区立学校(園)で推進します。	① オリンピック・パラリンピック教育の実施	済美教育センター	実施校数	156校	163校	158校	140校	子供園含む。令和4年度以降の実施については未定
	(1)	外国チームの事前キャンプ誘致 国内外の選手との触れ合いなどを通じた国際交流の促進やスポーツ振興に向けて、オリンピック種目であるビーチバレーや、パラリンピック種目であるボッチャなどの大会事前キャンプの誘致に取り組みます。	① 外国チームの事前キャンプ誘致	オリンピック・パラリンピック連携推進担当 スポーツ振興課	30年度まで外国チームの視察 受入回数、元年度から外国 チームの事前キャンプ数	3回	3回	3回	3回	イタリア ウズベキスタン パキスタン
				スポーツ振興課	実施状況	—	実施	—	実施	2年度はコロナにより中止となったが、3年度に改めて第2回東商杯を実施予定
				スポーツ振興課 スポーツ振興財団	ビーチコートの利用人数	5,336人	11,847人	15,964人	—	
スポーツ振興課				実施回数延べ参加人数	4回 155人	4回 131人	3回 107人 予定	4回 140人		
(2)	スポーツボランティアの意識啓発【再掲】 各種のプログラムや広報などを通じて、スポーツボランティア意識を啓発します。また、イベント運営、障害者スポーツ、子どものスポーツのサポートなど、様々な場面のボランティア活動の場を提供します。	① スポーツボランティアの意識啓発	スポーツ振興課 スポーツ振興財団		934人	658人	49人	630人		
(4)	② ボランティア活動の場の提供	スポーツ振興課 スポーツ振興財団		16	21	11	10			